

あまみ 市議会だより

No.76

2025.3



▲ 12月24日 総議会（第4回定例会最終本会議）

奄美・沖縄 世界自然遺産



第4回定例会

令和6年12月6日～12月24日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号
TEL：(0997) 52-1111
FAX：(0997) 52-2815
Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第4回定例会一般質問・・・・・・・・・・・・・P2～P6

第4回定例会常任委員会・・・・・・・・・・・・・P7

第4回定例会の主な議案・・・・・・・・・・・・・P8～P9

令和5年度決算・・・・・・・・・・・・・P10～P11

あとがき・・・・・・・・・・・・・P12

市政を問う

一般質問とは、議員が、市政全般にわたる施策の状況や方針などについて市の考えを問うものです。12月9日から11日の3日間で12名の議員が市当局に問い質しました。

主な項目について、議員本人が質問と答弁を要約したものをご紹介します。

1日目

- 1 前田 要
- 2 盛 剛
- 3 帯屋 誠二
- 4 大庭 梨香

2日目

- 1 朝木 一仁
- 2 崎田 信正
- 3 川口 幸義
- 4 泉 義昭

3日目

- 1 西 忠男
- 2 幸多 拓磨
- 3 叶 幸治
- 4 永田 清裕



録画配信

本会議や一般質問の様子をYouTube（ユーチューブ）にて録画配信しています。録画配信では、紙面の都合により掲載できなかった一般質問の内容もすべてご視聴いただけます。

右側の二次元バーコードをスマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会のホームページ（奄美市ホームページ内）からご覧ください。

録画配信は
こちら⇒
(YouTube)



奄美市議会 録画配信

傍聴・議会中継

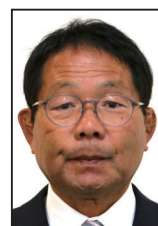
議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。

傍聴

事前連絡は不要です。市役所名瀬庁舎8階にお越しください。

議会中継

議会の様子をインターネットで生中継しています。
市議会のホームページ（市ホームページ内）からご覧いただけます。



前田 要
奄美市議会
(文教厚生委員)

故・徳田虎雄氏を名誉市民へ

問 故・徳田虎雄氏へ奄美市名誉市民の称号を贈呈することはできないか

答 徳田虎雄氏は1973年に医療法人徳洲会を創設し、「生命（いのち）だけは平等だ」の理念を掲げ、「いつでも、どこでも、だれでもが最善の医療を受けられる社会」の実現を目指し、北海道から沖縄県まで全国各地に、また海外にも医療・介護・福祉施設を展開し、特に離島、へき地医療、救急医療、国際医療協力に心血を注がれた。

奄美群島内においては、1986年に徳之島に徳洲会病院を開設以来、現在では、市内の笠利病院、名瀬徳洲会病院を含め8か所の病院があり、奄美市及び群島内の医療を支えていただいている。

こうした功績を称え、瀬戸内町、徳之島町、伊仙

町、和泊町、知名町、与論町において名誉市民の称号を授与されている。奄美市の名誉市民条例に基づき、選考委員会が審議を諮り、一つ一つ丁寧に検討してまいりたい。



▲ 徳田虎雄氏を偲ぶ会
(令和6年11月13日 徳之島町)

【その他の質問事項】

◎奄美空港へのオスプレイ・F15戦闘機離着陸について

◎才納 壽二氏より寄附いただいたEV車5台の配置場所について

◎土盛く赤木名線へ覆いかぶさる大変危険な大木の早期伐採について

◎赤木名小学校等への離島における再エネ主力化に向けた運転制御設備導入構築事業について

◎そてつ外来カイガラムシ防除について（3回目）

森林・林業施策の将来の展望と課題について



盛 剛
無所属
(産業建設委員)

問 令和6年度森林環境譲与税の施策を伺う

答 山林荒廃地整備事業や、奄美産木材製品製作事業（知名瀬林道、里林道に案内看板を設置）を実施。

問 森林セラピー療法の可能性について

答 現在森林療法に対する医療保険の適用はされていないが、ドイツ等では適用されている。

問 青久・嘉徳林道にホイルウォッチングの展望所は出来ないか

答 国立公園第1種特別地域であり検討課題が多い。

問 各集落豊年祭の支援策について

答 紡ぐきよらの郷づくり事業で観客席の屋根設置や櫓整備等に助成した事例がある。豊年祭は集落民が自主的に実施するもので開催自体への支援はない。市長ほか市幹部職員が各集落の豊年祭を訪問して交流を図っている。

問 その他の質問事項

◎徳田虎雄氏のヘルシーリゾートアイランド構想

◎島唄史跡巡りツアー

問 森林環境譲与税で屋根に覆いかぶさってくる山からの侵入危険木の除去はできないか

市民生活と自然環境について



帯屋 誠二
無所属
(総務企画委員)

問 奄美市におけるモクマオウの現状について

答 名瀬地区においてモクマオウは、公有水面埋立事業の際に防潮林や防風林として植林されてきた。管理としては、一般財団法人奄美市開発公社が指定管理を受託し、清掃活動や伐採等を行っている。防風林の役割を十分果たしている一方で台風襲来等による倒木や枝木の散乱から、その度に市民より処理依頼も多く早期の対応に努めている。しかし10メートルを超える高木が密集している状況であり、高所作業の機材や専門技術も必要であることから、毎年、緊急性のある箇所から優先的に伐採を実施している。住用地区においては、城集落のモクマオウに対し事前の点検を行い、伐採することとを関係課に指示した。

問 笠利地区におけるモクマオウについては、市民からの倒木や枝折れの報告を受ける度に除去や剪定を行っている。本市3地区においてモクマオウは、生活基盤を守り農作物被害対策としての役割を果たしているが、環境省による「場所を限定して局所的な防除を進める種類」となっているため、県と連携しながら伐採等を行い、モクマオウに代わる保安林の植栽も検討している。

問 リュウキュウアユの現状について

答 春に遡上する稚魚と秋に成長した産卵親魚の調査を実施。毎年2万匹前後の個体数が確認されているが、平成29年時には暖冬により4430匹と激減した。今年度も個体数への影響が懸念されるが、有識者会の報告待ちである。「河川再生」への取組として、県の戦略に基づき、河川工作物が与える影響について有識者ヒアリングや自然環境調査を進めている。

問 HPVワクチン接種率と周知方法について

答 本年度高校1〜3年生には予診票を、キャッチアップ接種者には受診勧奨のはがきを発送。未接種者には再勧奨を通知予定。11月29日に国からキャッチアップ接種（無料接種）期間延長が示され、経過措置の内容については広報紙等で通知予定。

問 本市の自殺の現状と対策について

答 令和4年度の本市自殺死亡率は39.5%で、県20.3%、国17.5%より高い。男女比は男性82.5%、女性17.5%。第2期奄美市自殺対策計画に沿って、ゲートキーパー養成講座や、保護者

福祉行政について。

教育行政について



大庭 梨香
公明党
(文教厚生委員)

問 HPVワクチン接種率と周知方法について

答 本年度高校1〜3年生には予診票を、キャッチアップ接種者には受診勧奨のはがきを発送。未接種者には再勧奨を通知予定。11月29日に国からキャッチアップ接種（無料接種）期間延長が示され、経過措置の内容については広報紙等で通知予定。

問 住用地区における学校統廃合協議の進捗とアンケート結果について

答 回答率88.10%、世帯の80%以上が「統合を検討した方がいい」と回答。学校再編について提言があった地域協議会等へ説明を行っていく。新年度には住用町内学校の在り方検討委員会を設置し方向性を検討する。

問 不登校児童生徒の保護者会・校内教育支援センターの設置について

答 保護者への支援も重要と考えている。保護者会設置の要望があれば検討する。校内教育支援センターは、登校できても教室には入れない児童生徒へ、個々の状況に応じて学習支援や教育相談が出来るが、対応できる教室環境や人的配置、予算確保が課題。今後も積極的に取り組んでいく。

●初回接種率（※R6年度は9月末現在）

	R6	R5	R4
高校1年生	11.8%	4.3%	9.8%
キャッチアップ接種対象者	10.9%	2.7%	3.6%

問 令和4年度の本市自殺死亡率は39.5%で、県20.3%、国17.5%より高い。男女比は男性82.5%、女性17.5%。第2期奄美市自殺対策計画に沿って、ゲートキーパー養成講座や、保護者

世界自然遺産。

教育行政について



朝木 一仁
チャレンジ奄美
(総務企画委員)

問 奄美大島生物多様性地域戦略2015―2024の評価について

答 同地域戦略は奄美大島5市町村からなる奄美大島自然保護協議会が策定したもので、重点8施策19事業のうち、16事業(84%)を実施した。また、奄美市独自の取組として、サンゴ再生試験・市道三太郎線への減速帯の設置・ノネコのモニタリング調査・仲勝川の水草オオワサモの駆除等があり、戦略の評価としては一定の成果が出ている。

人為的な稀少種の持ち出しについては、奄美空港において、空港職員と環境省、県・市職員がチャットを用いてリアルタイムでの種の特定や採取地の聞き取りを行い違法性の有無を判断している。令和6年11月11日現在でチャット確認が73件、空

港確認が4件。うち稀少種の事例は3件である。

問 学校集金のキャッシュレス化について

答 奄美市内ほとんどの学校で、学級費やPTA会費、修学旅行費、宿泊学習費等の集金を集金袋で行っている。キャッシュレス化の必要性については、教職員の業務負担及び保護者の集金袋の提出簡素化が図られることから、現金取扱いのリスクが回避できるものと考えられ、学校や家庭の実態に応じた方法であれば可能性はある。懸念点としては、集金システムの構築、導入費用やランニングコスト、手数料の負担がある。

デジタル田園都市国家構想交付金の活用は、保護者の利便性を図ることができるといふ観点により補助対象になる可能性があるため、今後も調査・研究を進めていく。

【その他の質問事項】

◎奄美大島観光物産連盟と奄美市の役割について

オスプレイの事故報告書を受けてのその後について



崎田 信正
日本共産党
(文教厚生委員)

問 昨年11月に屋久島沖に墜落したオスプレイの事故報告書が8月に出されたことを受けてその後について

答 飛行再開後のオスプレイの着陸は、11月14日と11月21日の2回で、警告灯の点灯による予防着陸。人道上、やむを得なかったと考えている。今後このような状況が頻発する場合は、九州防衛局を通じてアメリカ側へ再発防止について申入れを行いたい。

問 辺野古への土砂搬入の動きについて9月の調査にどう関わったのか

答 調査は山間港山間地区と戸玉地区の2港で実施。沖縄県への土砂搬入時における外来種の混入の調査。港湾施設内に誘引剤を使用したトラップを設け、どのような生物の誘引があるか、土砂へ

の搬入が起らないか調査した。世界自然遺産登録地である沖縄へ影響がないために調査するもの。

採石業の許可権は県にあるが、搬入する土砂の採石場の範囲を広げる等の申請があり遺産登録地への影響の恐れがある場合は、本市としても遺産登録地への影響がないよう環境省など関係機関からの意見聴取は必要と考える。戸玉港については、兼ねてから、議員より港の安全性等の指摘もある。今後の安全な搬出に努めると共に、騒音等による集落民へのこれ以上の負担をお願いすることはできないことも受け止めている。

【その他の質問事項】

◎会計年度任用職員の実態について

◎市営住宅の現状と計画について

◎12月2日以降の健康保険証について

市民の幸福度について



川口 幸義
自民党新政治家
(総務企画副委員長)

問 幸福度アンケートについて

答 令和5年度の回答結果から、主観的幸福度は若年層ほど実感している傾向にあり、生活満足度も10代が最も高い。高校生アンケートでは95%が島外で進学・就職と回答したものの、「いつかは帰りたい」などの帰島意向は59%であり、島の魅力を守り続け、帰るための島づくりが重要である。

問 空き家対策について

答 移住定住住宅リフォーム購入費等助成により、リフォーム助成10件、空き家購入助成6件で、26人の移住に寄与。空き家バンク制度活用による移住者は2世帯3人。

問 生産牛の振興に関して令和6年度の子牛価格は

答 奄美大島家畜市場における子牛セリ価格について、子牛1頭当たり平

均価格は、令和4年度が62万3232円、令和5年度が51万8621円、本年度が44万5420円となっている。直近の本年度11月セリ価格は4万6700円であった。このように過去3年間のセリ価格をみると、年々下落している状況である。

問 農家への指導や対策・支援について

答 肉用牛子については、牛肉の輸入自由化に伴う子牛価格への影響に対処するため、価格が低落した場合に生産者へ補給金を交付する「肉用子牛生産者補給金」がある。肉用子牛の全国平均価格が保証基準価格を下回った場合にその差額を交付するもので、直近では保証基準価格5万4000円に対し、全国平均価格は4万8900円であったため、子牛1頭につき差額の6万5100円が交付されたところである。

【その他の質問事項】

◎教育行政・文化財について

笠利地区の指定日外のゴミ回収・農水産業振興について



泉 義昭
奄美笠利誠会
(産業建設副委員長)

事業等で取り組む。

問 漁業経営安定化支援事業の条件緩和について(再質問)

答 4項目中「直近3年間のうち1年以上で水揚げ金額が40万円を超える者」の定めについて、2漁業組合と協議等を行う。

問 名瀬漁協製氷機の老朽化と故障対策について

答 名瀬漁協へ本市としてもアドバース等を行っている。

問 補助金を活用した場合でも漁協の負担金が必要と考えられるため、それらも想定しながら市へ相談いただきたい。

問 島の特産品加工・保存加工品の保管冷凍庫の取得について

答 笠利地区の5業者の冷凍庫取得については、国や県などの補助事業導入や、今後計画されている「笠利版地域創生戦略」計画等で議論し、情報提供を行って参りたい。

問 さとうきび振興にドローン活用予定はないか(再質問)

答 労働力軽減を図るためにドローン活用の推進が必要ということになり、令和7年4月に意向調査予定。結果を踏まえてさとうきび振興対策協議会

【その他の質問事項】
◎奄美群島成長戦略ビジョンについて

医療体制・観光資源について



西 忠男
チャレンジ奄美
(文教厚生委員)

問 令和6年10月1日から始まった新型コロナワクチン定期接種について

答 新型コロナワクチンは10月末までに605名の方が接種されている。レプリコンワクチンについては、令和6年第3回定例会で質問があった9月4日時点では、令和6年度の定期接種で使用するワクチンとして国において審議されている段階であったが、9月19日にレプリコンワクチンを含む5種類のワクチンが定期接種で使用されることが承認された。

問 世界自然遺産課の2年間の活動内容・寄付・使い道について

答 世界自然遺産に関する寄付金として、募金箱などへのご寄付と、ふるさと納税や企業版ふるさと納税において、世界自然遺産に関する事業に活用してほしいという意向で寄付をいただいている。令和4年度671万73009円、令和5年度7359万838円。主な使い道は、希少種の盗掘対策としてパトロール員の配置やセンサーカメラによる監視、クロウサギのロードキル対策や外来植物対策、希少動物に影響を与えるノネコやノヤギの対策、サンゴ礁保全の取り組みなど。自然環境保全に関する様々な事業に活用させていただいているところである。

問 奄美ジャングルトレイル・チャレンジサイクリング復活について

答 奄美ジャングルトレイル・チャレンジサイクリングは、本市内では取り扱っていないとのこと。

◎おがみ山・らんかん山の景観整備について

奄美の水について・アニマルウェルフェアの現状について



幸多 拓磨
チャレンジ奄美
(文教厚生副委員長)

問 市販のミネラルウォーターの安全性について

答 主要な事業者はホームページ等で製品の検査情報を公表しており、ピアースについては水質管理の目標設定項目の暫定目標値以下であるとの記載を確認している。今後必要に応じて広報等、適切な対応を図っていく。

問 消防による泡消火剤の使用について

答 大島地区消防組合が奄美市で使用している泡消火剤については、「合成界面活性剤泡消火薬剤」と「水成膜泡消火薬剤」であり、型番からピーフォースは使用されていないことを確認済み。

問 本市畜産農家のアニマルウェルフェアへの取り組み状況について

答 ほぼ全ての畜産農家がアニマルウェルフェアの対応に取り組んでいるも

のと認識している。

問 取り組んでいきたいと考えている畜産農家への支援について

答 家畜の快適性に配慮した飼養管理をそれぞれの生産者が意識し実行することであり、必ずしも特定の施設や設備の導入が求められるものではない。いずれにしても家畜がストレスを溜めない環境を整備することは必要。畜舎や家畜排せつ物処理施設など生産基盤の整備や農業機械の導入などの要望があった場合、各種補助事業による支援を検討していく。

問 教育費の予算が低いことに対する要因は

答 本市の令和6年度教育費は24億1200万。県内の人口が同規模の自治体は、指宿市23億3500万、日置市23億2400万、南さつま市24億で、本市は決して低い金額ではない。本市教育費は児童生徒1人当たり71万7387円。教育費予算額は県内19市中9位。

農林施策について・島外に出る若者へのサポートについて



叶 幸治
公明党
(産業建設委員)

問 令和7年度以降の光センサー選果に対するタンカン農家への使用料助成について

答 当該助成事業は開始前から、令和6年度までの期間限定措置であり、来年度以降の継続実施に関しては、現段階では行わない方針。一方で生産者が「名瀬中央青果」に持ち込む際の委託手数料を年明け1月1日から改定し、選果場光センサーにより判別されたタンカンの手数料を半額にすることが決定。また果樹農家への支援策として新たな施策も来年度事業で検討中。今後も「かせぐ農業の実現」のため必要な支援を検討していく。

問 ソテツシロカイガラムシ被害の今後の対策について

答 情報連絡会において、シジミ蝶によるソテツ加

害も被害を深刻化させる原因ではという意見があった。今後、シジミ蝶の防除対策も併せて実施する準備を進めている。

問 スマート農業の推進計画について

答 スマート農業の推進については、今後、実証実験等を通じて農家への普及を図って参りたい。

問 郷土会・奄美会などの周知が来ているか

答 奄美群島広域事務組合へも出身者の皆様から相談を受けている。各奄美会ホームページの案内や各高校での説明の機会等、各世代に向けた周知方法を広域事務組合とも連携して進めて参りたい。

問 Uターン者への島内雇用・助成支援の情報発信について

答 「人材確保・就職支援事業」を令和5年度から実施。二十歳のつどいでの周知については、関係各課とも検討し、チラシ配布など今年度から取り組んで参りたい。

市長の政治姿勢。防災危機体制について



永田 清裕
自民党新国会
(産業建設委員)

問 新年度の予算編成は

答 市長の就任から3年、令和7年度はマフレスト最後の仕上げの年である。昨今の物価高騰や人件費の上昇により歳出増が見込まれ、厳しい予算編成になると思う。事業の選択や立案を行い、官民連携・官民対話を重ね、困っている方々に寄り添うことを考えながら予算を確保し、継続して取り組む。

問 物価高騰対策について

答 9月に開催した「中小企業振興会議」において、市内事業所を取り巻く環境をはじめ市民生活においても厳しい影響があることを確認し、市民生活と事業所双方の総合的な支援の必要性を認識したところである。物価高騰対策は国からの交付金を活用するなど可能な限り早期に予算化し支援に向けた検討を進める。

問 改正奄振法の実施状況

答 基本理念に新たに「沖縄との連携」が追加された。民間団体の交流については11月に奄美大島商工会議所と沖縄県の南西地域産業活性化センターとの共催で会議が開かれ、両地域の産業交流に関わる各種施策の現状が共有された上で、今後の展望が話し合われた。沖縄と連携し、民間レベルによる交流を促進するためにも、しっかりと沖縄のニーズを把握するなど調査を進めていく。

問 防災危機体制について

答 「防災危機管理専門官」の新設について、自衛隊の知見を有した当該専門官は、平時からの連携の面や専門知識の面からも今後益々その重要性が高まってくるものと認識している。引き続き検討する。

【その他の質問事項】

◎日米共同統合演習

◎道路照明整備について

12月24日 絢議会

大島絢をPRするため、1977年から12月定例会の最終日を「絢議会」とし、出席者は全員大島絢を着用して議会に臨んでいます。

また、本定例会からタブレット端末等の電子機器の持ち込みが暫定的に開始されました。



1月3日 二十歳のつどい



1月5日「絢の日」のつどい・絢大行進



第4回定例会 常任委員会 審査概要

【文教厚生】12月16日
【産業建設】12月17日
【総務企画】12月18日

左記の日程で議案について
審査しました。
委員会の審査について一部
をご紹介します。

文教厚生委員会

令和6年度奄美市一般会計補正予算
(第8号)

問 奄美川商ホール広場内の奄美の伝統的建築物である古民家の維持管理について

答 今年度、屋根の葺き替えを予定している。課題は、茅葺ができる人材の技術伝承と安定的な茅の採集と認識している。

工事請負契約の締結（奄美市斎場既存諸室の大規模改修・火葬炉入替）について

問 奄美本島5市町村から利用があると思うが、広域的な運営や将来構想はないか

答 当座は奄美市独自の施設として対応。広域化については今後検討していく。

委員の意見

○今後人口が減っていく。しっかりと検討してほしい。

奄美市血液供給体制に関する請願

▽採択すべきもの

【請願事項】

- ・奄美大島への血液備蓄所の再設置
- ・旧備蓄医療機関制度に類する仕組みの復活
- ・離島における平時の血液融通の認可
- ・その他実現を図るための措置

【委員の意見】

○離島における緊急時の血液供給体制は危機的状況。ブラッドローテーションも抜本的解決に至っていない。

○奄美群島12市町村ワンチームで取り組んでいきたい。

産業建設委員会

令和6年度奄美市一般会計補正予算
(第8号)

問 10月の豪雨により被災した市道三太郎線の復旧状況について

答 倒木の処理等を行い、片側通行を確保している。その後、大型土嚢の設置を行い、通行を確保している。

令和6年度奄美市下水道事業会計
補正予算(第2号)

問 浜里町地内の小宿ポンプ場横の市有地売却について(固定資産売却益514万2000円)

答 これまで資材置き場として活用してきた土地だが、他にも資材置き場はあり、不要と判断し売却したもの。面積は730・39平米。地目は宅地で、一般競争入札を実施している。

奄美市住用観光交流施設・奄美市農林産物加工センター・奄美市内海公園の指定管理者の指定について

問 指定候補者となった「奄美島おこしプロジェクト」と他2団体との差は何か

答 審査の点数は3団体とも非常に接戦であった。「奄美島おこしプロジェクト」については、財政計画と管理運営体制のほか、飲食コーナーの設置及び運営、また販売所コーナーの商品開発と売上向上、冷凍自動販売機を活用した冷凍食品の24時間販売、そして年間イベントの開催等、魅力的な自主事業の提案があり、そういった点が他の2団体より特に評価された。

総務企画委員会

令和6年度奄美市一般会計補正予算
(第8号)

問 個人分の現年度課税分所得割9000万円の増額について

答 今年10月末までの所得割の調定実績から、1人当たりの給与収入が増加しており、300万から700万ぐらいの中間所得者層の給与収入が増えていることが要因と考えている。

問 消費費収入における弁償金の歳入について

答 平成25年度から27年度に実施した消防救急無線デジタル化整備事業の施工業者に対して、平成29年2月、公正取引委員会から排除措置命令及び課徴金納付命令が行われた。同社は公正取引委員会に対し処分取消を求め訴訟を起こしたが敗訴。消防組合は同社に対し、請負金額の10分の1の額、1億605万円を違約金として請求し、納付されたことから、構成市町村へ償還したもの。

(内訳)

奄美市	5312万6800円
瀬戸内町	1786万7300円
喜界町	1354万4700円
龍郷町	1148万3100円
宇検村	512万100円
大和村	490万8000円

問 安全安心対策費の修繕料67万7000円について

答 笠利の須野と喜瀬の屋外拡声子局の修繕費用で、基盤のショートによりスピーカーが聞こえない状況。各区長さんから御連絡いただき、すぐ修繕に取り組んでいる。

第4回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	専決処分の報告について（専決第9号 市営住宅明渡し等請求に関する訴訟の提起について）		
	専決処分の報告について（専決第10号 市営住宅明渡し等請求に関する訴訟の提起について）		
	専決処分の報告について（専決第11号 市営住宅明渡し等請求に関する訴訟の提起について）		
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて（専決第8号 令和6年度奄美市一般会計補正予算（第7号）について）	承認	本会議
議案第84号	令和6年度奄美市一般会計補正予算（第8号）について	原案可決	全委員会
議案第85号	令和6年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	文教厚生
議案第86号	令和6年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	文教厚生
議案第87号	令和6年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	文教厚生
議案第88号	令和6年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	文教厚生
議案第89号	令和6年度奄美市訪問看護特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	文教厚生
議案第90号	令和6年度奄美市水道事業会計補正予算（第2号）について	原案可決	産業建設
議案第91号	令和6年度奄美市下水道事業会計補正予算（第2号）について	原案可決	産業建設
議案第92号	奄美市特定個人情報保護条例を廃止する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第93号	奄美市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第94号	奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第95号	奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第96号	奄美市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第97号	奄美市保育所条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第98号	奄美市認定こども園条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第99号	奄美市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第100号	奄美市任期付市費負担教職員の採用、給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第101号	奄美市バンガロー施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第102号	奄美市肉用牛集合団地条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第103号	奄美市単独住宅条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第104号	奄美市農業研修センター・奄美市名瀬農村環境改善センター・奄美市市民農園の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第105号	奄美市農林産物直売所の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第106号	奄美市住用観光交流施設・奄美市農林産物加工センター・奄美市内海公園の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第107号	奄美市バンガロー施設の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第108号	奄美市笠利営農支援センターの指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第109号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について	原案可決	総務企画
議案第110号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第111号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第112号	奄美市道路線の廃止及び認定について	原案可決	産業建設
発議第7号	奄美市血液供給体制に関する意見書の提出について	原案可決	本会議

前議会からの継続審査事件

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第71号	令和5年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	一般会計
議案第72号	令和5年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第73号	令和5年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第74号	令和5年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第75号	令和5年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第76号	令和5年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第77号	令和5年度と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第78号	令和5年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第79号	令和5年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決 及び認定	特別会計
議案第80号	令和5年度奄美市下水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決 及び認定	特別会計

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
請願第2号	奄美市血液供給体制に関する請願	医療法人圭泉会 稲医院 稲 源一郎 名瀬徳洲会病院 満元 洋二郎	採択	文教厚生

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																					【○賛成数】	【●反対数】		
	朝木一仁	西忠男	帯屋誠二	瀧真一郎	正野卓矢	弓削洋平	幸多拓磨	大庭梨香	叶幸治	盛剛	前田要	泉義昭	永田清裕	崎田信正	奥輝人	多田義一	栄ヤス工	与勝広	奥晃郎	伊東隆吉	竹山耕平			川口幸義	
議案第75号 令和5年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○	○	○	欠	○	18	2	
議案第79号 令和5年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について (※利益処分については全会一致で原案可決)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○	○	○	欠	○	18	2
議案第80号 令和5年度奄美市下水道事業会計の利益処分及び決算認定について (※利益処分については全会一致で原案可決)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○	○	○	欠	○	18	2

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）

※奥輝人議員は議長職のため、表決権はありません。

令和5年度決算 認定

決算審査特別委員会では、令和5年度の予算の使い方が適正であったか、効果や効率はどうだったかなど、執行機関に質問し審査を行いました。

一般会計審査特別委員会 令和6年9月30日、10月1日、10月2日、10月3日

特別会計審査特別委員会 令和6年9月30日、10月1日

慎重に審査した結果、いずれも認定すべきものとして、12月6日の本会議において報告し、一般会計及び特別会計の令和5年度決算は全て認定となりました。

一般会計及び特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出
一 般 会 計	366 億 5,433 万円	347 億 8,218 万円
特 別 会 計	120 億 7,901 万円	118 億 7,674 万円
国民健康保険事業	51 億 2,070 万円	50 億 9,457 万円
国民健康保険 直営診療施設勘定	2 億 8,778 万円	2 億 8,728 万円
後期高齢者医療	5 億 9,362 万円	5 億 9,242 万円
介護保険事業	52 億 8,305 万円	51 億 1,262 万円
訪問看護	2,936 万円	2,936 万円
と畜場	7 億 5,913 万円	7 億 5,889 万円
交通災害共済	536 万円	160 万円
合 計	487 億 3,334 万円	466 億 5,892 万円

公営企業会計の決算状況

公営企業会計名	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水 道 事 業	12 億 5,852 万円	11 億 1,109 万円	6 億 9,527 万円	15 億 713 万円
下水道事業	17 億 1,734 万円	14 億 404 万円	9 億 3,432 万円	18 億 2,068 万円

※端数処理の関係で、数値が合わない場合があります。

一般会計決算等審査特別委員会

総務費

- 問** 令和5年度に実施した移住相談会の件数や内容について
- 答** 大阪で行われた九州・山口合同移住相談会と東京で行われたUIターン向けの就職企業相談会に参加した。相談件数については、大阪で5組、東京で7組。このうち1組は、移住を希望されて今年度市役所の方にもお越しいただいている。

民生費

- 問** 生活困窮者自立相談支援・就労準備支援事業の相談件数や相談内容について
- 答** 令和5年度の新規相談件数は178件で、対応総数が3,700件となっている。1番多い相談は生活費や食費等に関するもので、次に多いのが健康相談、最後に多いのが住まいの相談となっている。
- 問** 子ども・子育て支援事業計画策定ニーズの調査業務について
- 答** 令和2年度に計画を立てた第2期計画の事業評価や、令和7年度からの第3期計画の策定に向けて、確保すべき乳幼児期の教育保育及び子育て支援の必要量を算出するためのもの。保護者からの自由記述では、医療費無償化など経済的な支援を求める意見や、屋内の遊び場を求める声や公園での安全確保に関する意見、保育士等の働く環境の改善を求める声があった。

労働費

- 問** 特定地域づくり事業の実績について
- 答** 令和5年度の派遣職員の上限は5人で、8事業所が加盟していた。派遣職員のうち1人が派遣先の事業所に就職した。

商工費

- 問** 奄美市加工品販路拡大支援実証事業補助金の活用事例について
- 答** お土産用の箱のパッケージ開発やECサイトの構築、催事出店への補助、新メニューの開発等に活用されている。令和5年度は11件を採択。

土木費

- 問** 市営住宅の修繕に関する対応について
- 答** 包括管理の検討を進めている。現在は市の職員が一旦現場に行って補修の方針を定めてから大工や業者に依頼しているが、事業者が直接現場に駆けつけるということになれば、住民の皆様にお待たせしないような形がとれるのではないかと考えている。

教育費

- 問** 高校生遠距離通学費補助金の利用者数について
- 答** 令和5年度は名瀬地区48名、住用地区18名、笠利地区38名、計104名が利用。

特別会計決算等審査特別委員会

国民健康保険事業特別会計

- 問** 単年度収支で見ると約8千万の赤字になっているが、単年度で黒字を作れない要因は何か
- 答** 最大の要因は医療費の増額。加入者は毎年減っており、今回1万人を切ってしまったが、一人当たりの医療費は年々高くなっている。奄美市は県下19市の中で一番安い保険料で何とか賄っている状況にあるが、将来的に厳しくなることが見込まれているため、今後議論していきたいと考えている。
- 委員** 市民生活を第一に考えれば、国保税を上げることはできない。しわ寄せが市民・加入者になってこないよう、国の支出金の増額要求等を市長会としても各自治体としても頑張ってください。

介護保険事業特別会計

- 問** 要介護・要支援の認定者数について
- 答** 介護認定を持っている方の数は2,829件。申請については、新規・更新・区分変更合わせて3,143件上がっている。

交通災害共済特別会計

- 問** 制度の周知について
- 答** 小学校や中学校へ出向いて徴収をしたり、市内の比較的大きな企業等に対して制度の説明や期限切れが間近であるといったお知らせをするなどして、加入者が全体的に増えていくような取組に努めている。

と畜場特別会計

- 問** 予定より処理数が少ないが増加に向けた取組みは
- 答** 食肉センターの施設をどんどん活用していただけるというような良いサイクルづくりについて、市全体として知恵を出し合って取り組んでまいりたい。

水道事業会計

- 問** 人口と戸数の減少に対して配水量が増加した理由は
- 答** 漏水量の増加ということが考えられ、有収率低下の主な要因となっている。

議会の動き

【11月】

- 1日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 5日 鹿児島県市議会議長会臨時総会、
国会議員との意見交換会
- 7日 奄美群島農業祭交流会
- 8日 奄美大島商工会議所創立65周年会員
大会2024
- 10日 奄美市民体育祭
- 19日 離島振興市町村議会議長全国大会
(オンライン)
- 22日 政策立案推進会議
- 27日 議会運営委員会

【12月】

- 6日 第4回定例会開会、全員協議会、
会派代表者会
- 9日 一般質問(～11日)
- 13日 本会議、全員協議会、会派代表者会、
議員定数・報酬等特別委員会、
政策立案推進会議
- 15日 まなびフェスタ
- 16日 文教厚生委員会
- 17日 産業建設委員会
- 18日 総務企画委員会
- 24日 最終本会議(純議会)、全員協議会
- 25日 日本復帰記念の日のつどい

【令和7年1月】

- 3日 二十歳のつどい
(笠利地区、名瀬・住用地区)
- 5日 純の日のつどい、奄美市合同年始会
- 7日 政策立案推進会議
- 10日 奄美市建友会安全祈願祭懇談会
- 12日 消防出初式
- 18日 名瀬町内会・自治会連合会「新年会」
- 19日 成人祝賀奄美市地区対抗駅伝競走大会
- 20日 鹿児島県市議会議長会臨時総会
- 21日 鹿児島県市議会議員研修会
- 22日 奄美大島商工会議所新春賀詞交歓会
- 29日 沖縄奄美連合会意見交換会
- 30日 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会
総会、政策立案推進会議
- 31日 議会だより編集委員会

市議会だより 編集委員会

【委員長】 奥晃郎
【副委員長】 帯屋誠二
【委員】 朝木一仁
大庭梨香
前田要
崎田信正

第1回定例会の予定

令和7年2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
				開会	常任 委員会	
16	17	18	19	20	21	22
	常任委員会	本会議				
23	24	25	26	27	28	

令和7年3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
		一般質問				
9	10	11	12	13	14	15
		本会議		予算委員会		
16	17	18	19	20	21	22
	予算委員会					
23	24	25	26	27	28	29
				最終 本会議		
30	31					

編集あとがき

令和6年第4回定例会が12月6日から開催されました。市民の皆様から付託を頂き、議員としての責務の一般質問、登壇は12名。議会だよりには、市民の皆様からご意見・ご相談を受けた議員が市当局へ質問し議論した一般質問の内容と、本定例会の議案・請願等をご紹介しております。市民の皆様におかれましても、一般質問に再度お目通しされて、22名の議員の中からいつもとは違う議員へ相談をする、判断材料にもなり得るかと思えます。

私のマニフェストに再エネ・EV車・議員定数削減の推進等がありますが、丸紅株式会社様からの「屋根置き太陽光発電・蓄電池」が赤木名小学校等に設置され、地球温暖化対策＋災害時の停電解消への画期的な一歩となったことに感謝いたします。またEV車を5台も寄贈された才納様。市民の皆様がコスパ最高のEV車に興味を持つことになればと思います。さらに、奄美市議会の議員定数・報酬等特別委員会の初会合が12月13日に開かれました。市民の皆様のご代表の定数・報酬です。2回目は3月の予定です。

任期満了となる2027年11月までに公約を達成出来るよう、残り3年弱を一つ一つ丁寧に張り切って参ります。

未来の奄美市のため、市民の皆様の声を22名全員でお待ちしております。

【前田要】